

# 第2回

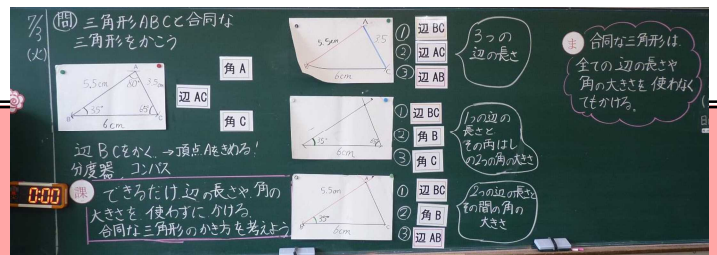
# 授業づくり講座 授業研究会

# 室戸市立室戸小学校

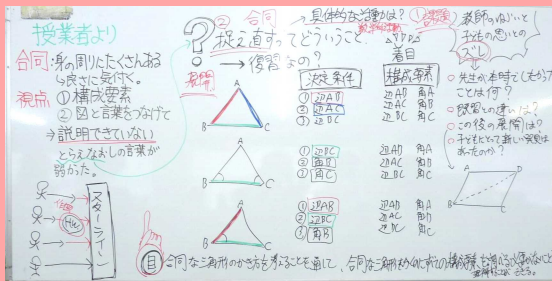
## 第5学年「合同な図形」山中 奨大教諭

### 【本時の提案授業】

7月3日、室戸小学校で授業研究会が開かれました。本時では、三角形や平行四辺形を作図してきたことを想起させながら、与えられた三角形と合同な三角形のかき方を考え作図をしていく過程で、合同な三角形が決まる条件について整理させること、全ての辺や角を用いなくても三角形が1つに決まるということに気付かせることをねらいとしました。また、単元を通して、合同の観点から既習図形を見直しました。



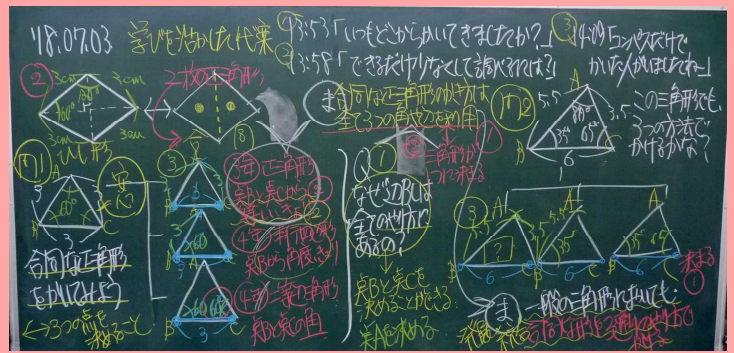
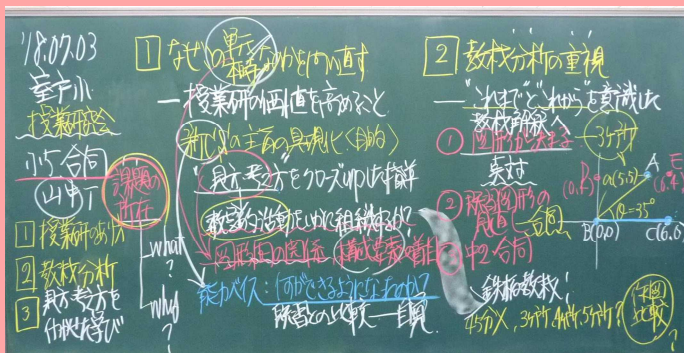
### リフレクション



研究協議では、「子供は課題を理解できていたのか。どうすることで図形が決まるかに重点をおくべきではなかったのか。」「課題に『できるだけ』は必要だったのか。」「もう少し子供たちで説明し合う場面が必要ではなかったのか。」などの声が聞かれました。どこで教師と児童との思考にズレが生じたのかなども協議されました。

### 学力向上総括専門官より

本単元を扱う理由や課題の所在を明確にすること、見方・考え方に着目して数学的活動をいかに組織するのかを考えると、単元全体を見通したうえで構成を再考すること、新たな概念を学ぶとき、既習の価値を見直す活動を行うことにより、学びが繋がっていると児童に気付かせること等が大切であるとご指導いただきました。



### ◆参観者より

- 教師と児童とのズレやゴールイメージを明確にすることの大切さを学ぶことができました。また、教師自身が教材の意図をつかむ大切さを忘れないようにしたいです。
- 授業研究ではなぜこの単元を取り上げるのか、その理由からはっきりさせて授業を組み立てていく必要性を改めて感じました。また、学びの文脈を子供と描くことができるよう、しっかり教材研究を行いたいと思いました。
- 見方・考え方を各教科でしっかり見直して、授業で何を子供に学ばせるのか考える必要性を改めて感じました。

次回の室戸小学校での講座は、**8月21日(火)** **13:30~**です！  
ぜひご参加ください。

